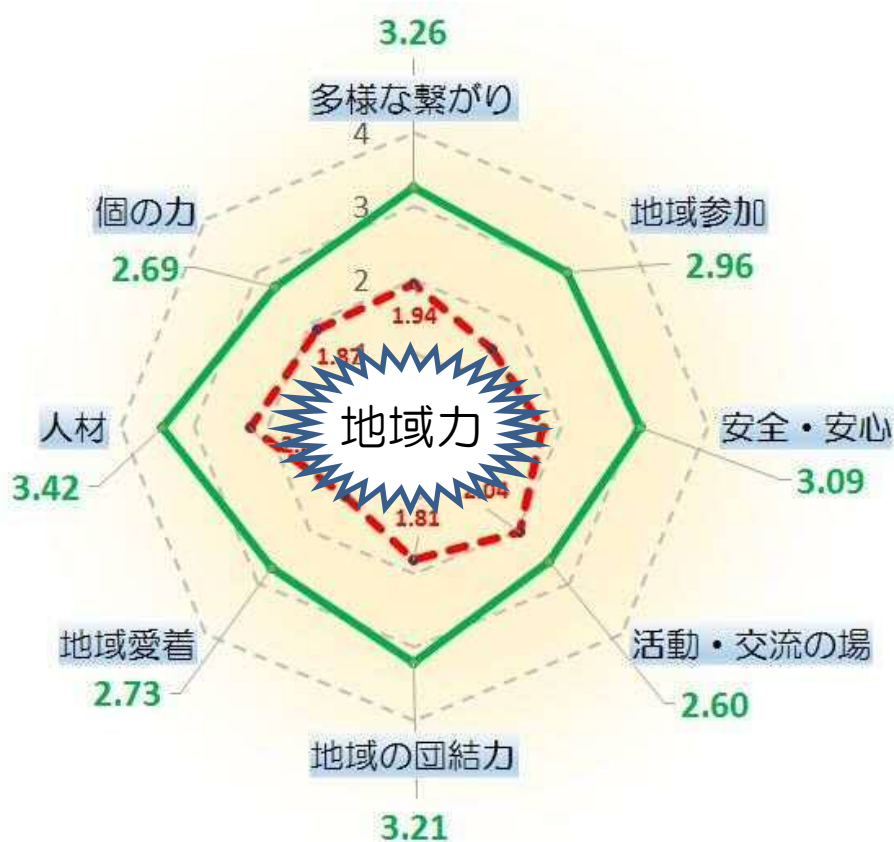


地域自己診断ツール

ちいきのちからシート

を活用した地域づくり

令和元年度実施結果



2020（令和2）年 3月

1 活用実績（令和元年度）

回答数	24団体 733件（人） ※区内実施分
活用団体等 内訳	町会・自治会：7 地域活動団体等：14 その他：3
その他	他市区町村（市内他区含む）：4

No1

実施時期	令和元年6月	<p>結果グラフ（全体）</p> <table border="1"> <caption>結果グラフ（全体）のスコア</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多様な繋がり</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地域参加</td> <td>2.68</td> </tr> <tr> <td>安心・安全</td> <td>2.66</td> </tr> <tr> <td>地域の拠点</td> <td>2.36</td> </tr> <tr> <td>地域の回結力</td> <td>2.48</td> </tr> <tr> <td>地域愛着</td> <td>2.70</td> </tr> <tr> <td>人材</td> <td>2.34</td> </tr> <tr> <td>個の力</td> <td>2.71</td> </tr> </tbody> </table>	項目	スコア	多様な繋がり	4	地域参加	2.68	安心・安全	2.66	地域の拠点	2.36	地域の回結力	2.48	地域愛着	2.70	人材	2.34	個の力	2.71
項目	スコア																			
多様な繋がり	4																			
地域参加	2.68																			
安心・安全	2.66																			
地域の拠点	2.36																			
地域の回結力	2.48																			
地域愛着	2.70																			
人材	2.34																			
個の力	2.71																			
主な地域	高石																			
対象	町会・自治会																			
回答数	61																			
実施方法	<p>①設問や様式を地域に合った内容にし、全戸に事前配布、回収</p> <p>②分析結果のフィードバック・意見交換</p>																			
実施結果 ・感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・全体での分析と、男女別、年代別、自治会役員とそれ以外という属性に分けて比較、分析することにより、日頃感じている課題を客観的に捉えることができた。 ・自治会の理事全体で取り組んだことで、理事会の結束が強まった。 ・これから始まる「茶話会」が、地域の拠点や繋がる場になるようにしたい。 ・今後も定期的にシートを活用し、経年変化を見たい。 																			

No2

実施時期	令和元年 6月	結果グラフ（全体）
主な地域	王禅寺東	
対象	町会・自治会	
回答数	17	
実施方法	①地域包括ケア圏域会議の一部として実施 ②分析結果をフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・町会役員や民生委員が地域の課題を共有する場となった。 ・地域が「こうなったらいいな・嫌だな」という話し合いを深めることができた。 ・住民が地域を大事に思って、「安心・安全」の活動を重視していることが共有できた。 ・シートと併せて、「こうなったらいいな・嫌だな」について話し合うことで、参加者の地域への理解・関心が深まる。 	

No3

実施時期	令和元年 7月	結果グラフ（全体）
主な地域	白鳥	
対象	町会・自治会	
回答数	23	
実施方法	①役員会、子ども会で実施 ②分析結果を元に組織内で協議	
実施結果 ・感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の強み・弱みを確認し、それらを元に住民アンケートを実施。 ・分析結果から、自治会の活動が十分に認知されていない可能性があるため、自治会パンフレットを作成・配布するなど、自治会活動の活性化に繋がりたい。 ・役員が毎年変わるため、都度シートを活用し、経年変化を見たい。 	

No4

実施時期	令和元年7月	結果グラフ（全体）
主な地域	虹ヶ丘	
対象	地域活動団体等	
回答数	19	
実施方法	①会の一部（活動後の茶話会の場）として実施 ②後日、結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	<p>・地域について考えてもらうきっかけとなった。</p> <p>・フィードバックの時間が少なかったこともあり、今回の結果を基に引き続き参加者が地域のことを考え、共有する場を設けられると良い。</p>	

No5

実施時期	令和元年7月	結果グラフ（全体）
主な地域	虹ヶ丘	
対象	地域活動団体等	
回答数	20	
実施方法	①会の一部（活動前の講話の時間）として実施 ②後日、結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	<p>・自分たちがどう地域をとらえているかを共有できた。</p> <p>・フィードバックの時間が少なかったこともあり、今回の結果を基に引き続き参加者が地域のことを考え、共有する場を設けられると良い。</p>	

No6

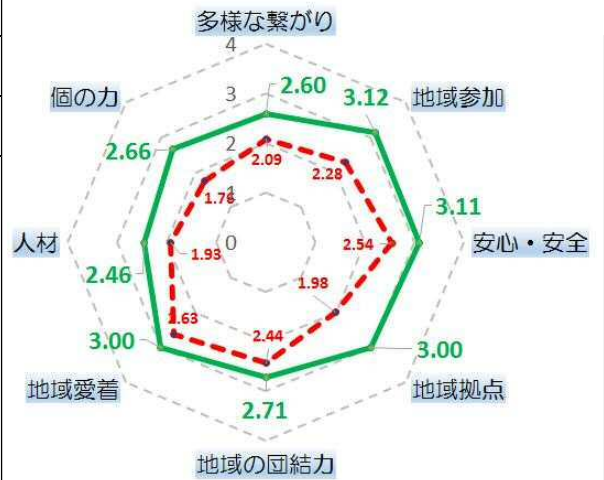
実施時期	令和元年 7月	結果グラフ（全体）
主な地域	虹ヶ丘	
対象	地域活動団体等	
回答数	18	
実施方法	①会の一部（茶話会の時間）として実施 ②後日、結果のフィードバック・意見交換	
実施結果・感想等	・具体的な支え合い活動のような意見は出なかったが、疑問に思うことを話すきっかけとなった。	

No7

実施時期	令和元年 8月	結果グラフ（全体）
主な地域	虹ヶ丘	
対象	地域活動団体等	
回答数	14	
実施方法	①会の一部（茶話会前の講話の時間）として実施 ②後日、結果のフィードバック・意見交換	
実施結果・感想等	<p>・地域特性や課題、それらに対する参加者の意見を共有することができた。</p> <p>・「多様なつながり」のバラつきが大きかったことから、つながりづくり・集いの場についてのメンバーの考えを共有し、取組につなげていく。</p>	

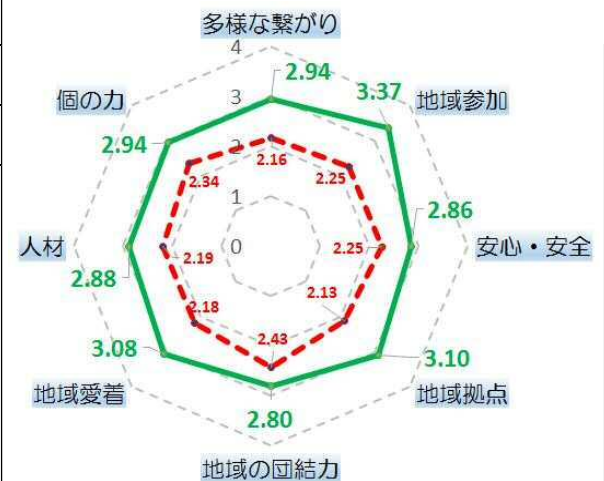
No8

実施時期	令和元年 8 月	結果グラフ（全体）
主な地域	多摩美	
対象	町会・自治会	
回答数	14	
実施方法	①役員会で実施 ②後日、でシート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	<p>・今回の実施で地域について見つめ直すきっかけになった。町会館を拠点に活動中の団体にも実施してみたい。</p> <p>・これまで自分たちだけで悩みながら行ってきた地域づくりだが、今回の実施を機に改めて地域活動に対する相談や検証等が可能な機関を知ることが出来た。今後は具体的な活動の立ち上げ方や進め方等学んでいきたい。</p>	



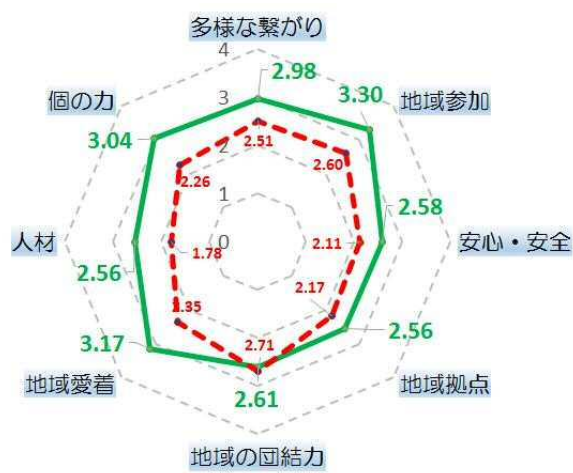
No9

実施時期	令和元年 9 月	結果グラフ（全体）
主な地域	虹ヶ丘	
対象	町会・自治会	
回答数	20	
実施方法	①圏域会議の参加者で実施 ②①の結果と、他の団体が実施した結果等を合わせ、12月に開催した区民車座集会の場で住民ワークショップを実施	
実施結果 ・感想等	<p>・町丁ごとの地域のとらえ方を共有するとともに、地域全域での特性や課題を参加者で共有することができた。</p> <p>・「地域資源・支え合いマップ」づくりと併せてワークショップを実施することにより、ソフト面での地域特性や課題を共有できた。</p> <p>・今後も圏域会議を定期的に継続開始し、地域の特性の課題を反映した具体的な取組みにつなげていく。</p>	



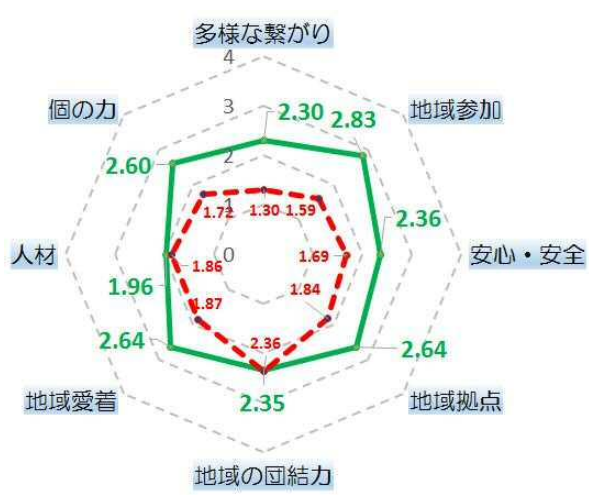
No10

実施時期	令和元年10月	結果グラフ（全体）
主な地域	金程	
対象	地域活動団体等	
回答数	9	
実施方法	①当日の会議参加者で実施、その場で結果のフィードバック	
実施結果・感想等	・団体の代表者がシートを実際に体験し、今後地域住民を対象に実施するか検討する機会として実施。地域について考える機会として今後の活用を検討。	



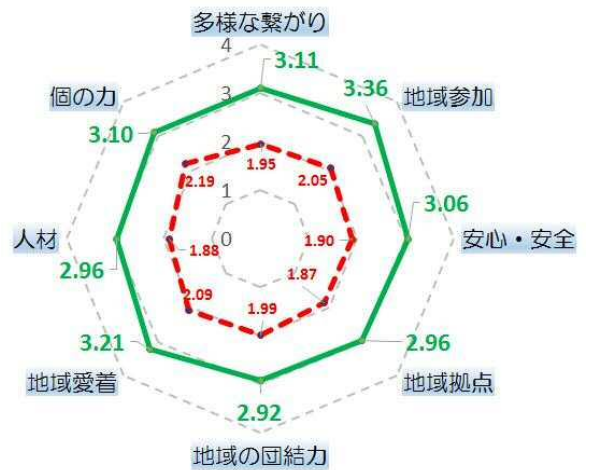
No11

実施時期	令和2年10月	結果グラフ（全体）
主な地域	全域	
対象	その他（区役所事業）	
回答数	14	
実施方法	①区役所主催「赤ちゃん学」講座において、子育て世代を対象に「子育て世代における地域に関する意識調査」として実施	
実施結果・感想等	（回答者への直接のフィードバックは無し。） ・「人材」「多様な繋がり」「地域の団結力」「安心・安全」などが低いことから、全体的に地域との繋がりが薄い傾向にある。一方、「地域参加」は比較的高く、地域への関心はあると思われるため、事業を通じて地域へ繋げていく仕組みづくりが求められる。	



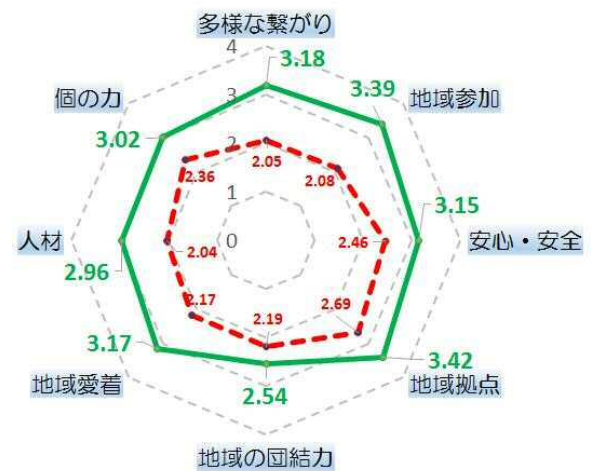
No12

実施時期	令和元年10月	結果グラフ（全体）
主な地域	東百合丘	
対象	その他（区役所事業）	
回答数	115	
実施方法	①麻生区総合防災訓練において、専用の体験ブースを設置、来場者が回答 ②後日、「防災のつどい」の場において分析結果等の報告	
実施結果 ・感想等	No20 のとおり	



No13

実施時期	令和元年10月	結果グラフ（全体）
主な地域	多摩美	
対象	地域活動団体等	
回答数	12	
実施方法	①サロン参加者で実施 ②後日、シート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	・結果のフィードバック・意見交換は、同地区で実施済みの他団体の結果と共に、令和2年度に改めて行う予定。	



No14

実施時期	令和元年10月	結果グラフ（全体）
主な地域	多摩美	
対象	地域活動団体等	
回答数	8	
実施方法	①サロン参加者で実施 ②後日、シート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果・感想等	・結果のフィードバック・意見交換は、同地区で実施済みの他団体の結果と共に、令和2年度に改めて行う予定。	

No15

実施時期	令和元年10月	結果グラフ（全体）
主な地域	多摩美	
対象	地域活動団体等	
回答数	7	
実施方法	①サロン参加者で実施 ②後日、シート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果・感想等	・結果のフィードバック・意見交換は、同地区で実施済みの他団体の結果と共に、令和2年度に改めて行う予定。	

No16

実施時期	令和元年 1 1 月	結果グラフ（全体）
主な地域	多摩美	
対象	町会・自治会	
回答数	8	
実施方法	①講座に併せ、参加者で実施 ②後日、シート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	・結果のフィードバック・意見交換は、同地区で実施済みの他団体の結果と共に、令和 2 年度に改めて行う予定。	

No17

実施時期	令和元年 1 1 月	結果グラフ（全体）
主な地域	多摩美	
対象	地域活動団体等	
回答数	6	
実施方法	①サロン参加者で実施 ②後日、シート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	・結果のフィードバック・意見交換は、同地区で実施済みの他団体の結果と共に、令和 2 年度に改めて行う予定。	

No18

実施時期	令和元年 1 1月	結果グラフ（全体）
主な地域	岡上	
対象	町会・自治会	
回答数	4 0	
実施方法	①総務役員、地区役員で実施 ②各役員のグラフを比較	
実施結果 ・感想等	<p>・全体的に総務役員の数値が高い。地区役員はまだ活動期間が短く、地域の資源などを知らない可能性がある。今後活動が継続していく中で差は小さくなっていくかもしれない。また、お互いに情報共有をできるといい。</p>	

No19

実施時期	令和元年 1 2月	結果グラフ（全体）
主な地域	全域	
対象	地域活動団体等	
回答数	4 2	
実施方法	①ぼうさい出前講座に併せて実施 ②後日、分析結果をフィードバック	
実施結果 ・感想等	<p>・分析結果を基に、実施団体において考察。</p>	

No20

実施時期	令和元年9月～2年2月	結果グラフ（全体）
主な地域	全域	
対象	地域活動団体等	
回答数	189	
実施方法	①区内各避難所運営会議で実施 ②後日、「防災のつどい」の場において分析結果等の報告	
実施結果 ・感想等	<p>（アンケートより一部抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状把握が客観的にできること、地域によって結果にバラツキがあったことが興味深かった。 ・地域自己診断に基づいた町会・自治会の問題点の洗い出しを取り入れてみたい。 ・「地域を知る」ためにシートを活用したい。 	

No21

実施時期	令和元年12月	結果グラフ（全体）
主な地域	多摩美	
対象	地域活動団体等	
回答数	12	
実施方法	①サロン参加者で実施 ②後日、シート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・結果のフィードバック・意見交換は、同地区で実施済みの他団体の結果と共に、令和2年度に改めて行う予定。 	

No22

実施時期	令和2年1月	結果グラフ（全体）
主な地域	高石	
対象	町会・自治会	
回答数	9	
実施方法	①役員会で先行実施 ②後日、シート結果のフィードバック・意見交換	
実施結果 ・感想等	<p>・町会役員がシートを実際に体験し、今後地域住民を対象に実施するか検討する機会として実施。地域及び地域活動を考えるきっかけとして、今後の活用を検討。結果のフィードバック・意見交換は、来年度改めて行う。</p>	

No23

実施時期	令和2年2月	結果グラフ（全体）
主な地域	上麻生	
対象	町会・自治会	
回答数	15	
実施方法	①役員会で実施 ②後日、シート結果のフィードバック	
実施結果 ・感想等	<p>後日、シート結果のフィードバック予定。</p>	

No24

実施時期	令和2年2月	結果グラフ（全体）
主な地域	白山	
対象	地域活動団体等	
回答数	18	
実施方法	①会の一部（活動の振り返りの時間）として実施 ②後日、分析結果をフィードバック・意見交換	
実施結果・感想等	後日、シート結果のフィードバック予定。	

No25

実施時期	令和2年2月	結果グラフ（全体）
主な地域	虹ヶ丘	
対象	その他（小学校）	
回答数	26	
実施方法	①虹ヶ丘小学校6年生の社会科授業「政治」において、地域住民の声を市政に反映する手段の一例として実施	
実施結果・感想等	・実施後「虹ヶ丘をこんなまちにしたい」というテーマで話し合ったが、活発な意見交換となった。政治について学ぶだけでなく、地域について考える良い機会となった。	

2. シート改良の実施（令和元年度）

実施内容	作業部会：5回 研修会：2回
参加団体	田園調布学園大学、川崎市麻生区社会福祉協議会、区内地域包括支援センター、 麻生区役所ほか
主な 取り組み	<p>① 回答・結果様式の見直し （共通）A3 様式に変更、ヴィジュアルの変更 （回答様式）質問文の見直し、質問の追加/マークシート方式の導入/「居住期間」「町丁」「独自質問項目」「自由記述欄」の追加/インターネット（スマートフォン等）回答の導入など</p> <p>② 地域活動実践マニュアルの作成 「実践に向けた気づきシート・取組モデルシート」： 地域課題の解決に向けたアクション（行動）を円滑に行うための地域活動マニュアル（サロン・カフェ・茶話会等の立ち上げ編/支えあい・助け合いマップづくり編/健康づくり活動立ち上げ編/防災活動編など（随時追加予定））</p> <p>③ 住民（団体）向け啓発リーフレットの作成 シートの紹介～シートを活用した地域づくりの流れ、「活動実績」などを掲載</p> <p>④ 実施報告書（公開用）の作成 ツールの目的、作成までの経緯、使い方、カテゴリ（質問）の専門的解説、今年度の実績等を掲載</p> <p>⑤ その他 職員・関係機関向け研修会の実施 など</p>

3. その他

－東京ケアウィーク 2020（会場：東京ビッグサイト）における出展－

「ちいきのちからシート」を、より多くの地域で利用して頂き、今後の改善に向けたきっかけづくりとして2020年2月12日から2月14日まで東京ビッグサイトにて開催された「東京ケアウィーク（CareTEX 東京）」にブースを出店いたしました。

3日間における資料配布数は約600人、名刺受領数は約150人、アンケート回答数は100人以上となりました。

数多くの自治体や福祉関係事業者が来場してくださり、自分たちの地域で利用したいというご意見だけでなく、活用に向けた建設的な意見を数多く頂くことができました。また、想定していなかった大手や中小の民間企業からも、まちづくりに利用したいと数多くの問い合わせを頂きました。

